

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用目的及び利用方法	研究の名称 悪性リンパ腫における化学療法後の低 グロブリン血症発症に関わるリスク因子についての後方視的コホート研究
	研究の対象 2012年1月～2019年12月に当院の血液内科で初めて化学療法治療を開始し、最終コースまで終了した悪性リンパ腫の方 91名
	研究の目的 悪性リンパ腫に対して化学療法を行うと、それに低ガンマグロブリン血症を起こすことがあります。低ガンマグロブリン血症になると重症感染症を起こすリスクが増加するといわれていますが、どのような患者さんで低ガンマグロブリン血症を起こしやすいかどうか、不明な点が多くあります。この研究では、悪性リンパ腫に対して初めて化学療法を受けた患者さんのカルテデータから、低ガンマグロブリン血症発症に影響を与えるリスク因子を明らかにすることを目的とします。
	研究の期間 研究機関の長による実施承認日から2024年3月31日まで
	他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	研究に使用する試料・情報 情報：治療歴、検査データ、感染等の発生状況、免疫グロブリン補充療法の有無 等
利用する者	機関名および責任者名

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

<p>の範囲</p>	<p>浜松医科大学 内科学第三講座 小野孝明</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 内科学第三講座 小野孝明</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 内科学第三講座（血液内科）</p> <p>担当者： 坂本奈美</p> <p>TEL： 053-435-2267</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

E-mail : nsaka@hama-med.ac.jp